

## 付録 ガスクロマトグラフィー研究会 200 回から 300 回の歩み

### 付録の目次

1. 活動記録 (1995 年から 2009 年)
2. 講習会の歩み
3. 記念事業の紹介 (40 周年、50 周年)
4. 国際交流
5. 資料

研究懇談会規約

GC 懇活動紹介 (日、英)

歴代委員長

運営委員及び担当一覧

付録として活動記録、記念事業などの活動を収録します。また、資料として規約、活動紹介、運営委員などを収録しました。

200 回から 300 回までの概略を下記にまとめます。詳細は活動報告と記念事業等を参照ください。200 回当時の会員数は 76 名 (団体会員含む) でした。

- ・1995 年 2 月に 200 回を記録し、これを期にガスクロマトグラフィー研究会としました。
- ・1995 年 7 月には記念事業として東京都立大学 (現首都大学東京) の保母先生の所で第一回目の講習会 (実習付き) を開始し、1997 年にはテキストに使えるよう「キャピラリーガスクロマトグラフィー」を運営委員で執筆し出版しました。途中 1 回だけやむ終えない事情で実習ができませんでしたが、2009 年に 15 回目の開催を迎え受講生は 500 名を越えました。講習会の成果を元に運営委員が協力して執筆した実習用のテキストが間もなく出版されます。
- ・1998 年に設立 40 周年を迎え、記念事業として出版事業と海外交流事業を開始しました。この年に K.Grob 博士の著書を翻訳し「CGC における試料導入技術ガイドブック」を出版しました。1999 年 11 月には K.Grob 博士、A.Amirav 博士を招待し招待講演会を開催しました。続いて 2000 年に 40 周年記念講演会を開催し、研究懇談会を支えてきた多くの方々や企業の方々の表彰を行ないました。会員も増え続け、この時の会員数は 297 名でした。
- ・2002 年には研究会 250 回記念として日中環境分析化学研究会を北京 (中国) で開催しました。保母先生の研究室から中国科学院の教授として帰国した林金明教授が GC のラボを立ち上げるのを応援しました。翌年はガスクロマトグラフィー生誕 50 周年を記念して韓国のガスクロ研究会と共同でソウル (韓国) にて日韓分離研究会を開催しました。此処に中国から林金明教授が参加し、2004 年に日中韓環境分析研究会が発足しました。中国ではガスクロの研究が本格的に行なわれておらず、研究交流の幅を広げるために他の研究懇談会に協力を呼びかけました。その結果、この年から LC, IC, FIA, CE 各研究懇談会が協力して運営にあたり、その後、分析化学会本部の国際活動支援を得て継続して開催し、2009 年には環境分析研究懇談会が加わり第 6 回日中韓分析化学シンポジウムを幕張で開催するに至りました。
- ・2008 年 12 月に設立 50 周年記念講演会を開催し、40 周年に習い研究懇談会を支えてきた多くの方々や企業の方々の表彰を行ないました。

近年は会員数が 100 名程度まで減少してきましたが、研究会の参加者は毎回 80 名から 120 名程度と盛況です。運営委員の数は増加し、40 名近くの運営委員の方の協力を得て活発な活動を続けております。各地に地方委員をおき、東京集中の懇談会が全国展開できるよう準備を進めております。

また、2009 年度からホームページを充実し、会員サービスの向上に努めております。

<http://www.jsac.or.jp/~gc/>

アーカイブ <http://members3.jcom.home.ne.jp/ichi-takeda/>